

KEEP on T.R.Y

社長の今月お伝えしたいこと

VOL65
2024年2月

今年も窓のリフォームに対し、高額の補助金がでます。

昨年に続く「先進的窓リノベ事業 2024」と「子育てエコ住まい支援事業」の2本立てです。

前者は窓リフォームのみが対象ですが、後者は新築物件も対象のため早期終了が見込まれます。

昨年は内窓への補助額が多かったのに対し、今年は断熱窓への取替の補助額が増加されました。

なぜでしょうか。

私は断熱効果が異なるからだと考えます。

内窓は既設窓の内側にもう一つ窓を設置する方法ですが、その歴史は長く、40年以上続く商品です。

発売当初は防音が重視され、私が幼少の頃より社屋と実家に設置してあったことを記憶しています。

90年代後半に環境やエコが注目され、「断熱性+防音」をキーワードに多くの内窓が販売を開始しました。

昨年、内窓を取付させていただいたお客様に、効果をお尋ねさせていただいたところ

多くのお客様からご満足の声をいただきました。しかし、こんな声もありました。

「2度の開け閉めと清掃が面倒だ」「隙間風が気になる」。…隙間風？

内窓は、戸車横のゴムヒレがレールと密着し、音と冷気を遮断する役割を果たしています。

しかし取付の性質上、フラットレールとなるため、レールには段差がありません。

お聞きした「隙間風」の件について、私はこう考えます。

隙間風は建具における気密性が問題です。

断熱窓は、レールによる段差作用も含め、窓自体の気密性能が高いため、隙間風は入りにくくなります。

内窓の場合、今お使いの窓の気密性(隙間風)に起因する可能性が大きい場合があります。

今回、断熱窓取替の補助額が増したのは、より高い断熱効果が理由だと思います。

私が内窓ではなく、断熱窓をお勧めする理由は3つあります。

1点は開閉がワンアクションです。2点目は気密性が高く、断熱性能が内窓を上回る点です。

3点目は災害時の避難経路の確保です。

震災時、外へ脱出する際に2つの窓を開ける余裕は果たしてあるのでしょうか。

これからの窓は、断熱・防犯に加え、防災・減災を意識すべきであると考えます。

今年の補助金には「防災に資する工事」も含まれるため、詳細は同封の小冊子をご覧ください。

防災面も視野に入れた「断熱窓への取替」を弊社はお勧めします。

リスクの考え方

総合防犯設備士として、昨今の犯罪・災害情勢等、様々にリスクに対する考え方を学んでいます。
元旦に発生した能登半島地震も踏まえ、私たちは従来のリスクに対する発想を転換すべきだと思いました。
以下に箇条書きに述べてみます。

- ① 緊急事態の発生：
重大リスク(事故・天災)は必ず起きるという発想
- ② 対応方法：
後追い型ではなく、事故を想定した予防型の対応
- ③ 備えの形態：
発生した場合の保険等で補填できないものに対する管理と備え
- ④ 対策方法：
ハード面(モノ的防御)だけでなく、ソフト面(人的防御、防災訓練など)

特に④の発想は昔から変わらないんですね。
‘95年に新聞掲載された「まちを守るモノともの」同様に防犯・防災商品だけでなく、それを扱う者の考え方や対応力が重要だと思っています。

生成 AI ってスゴイ

改めてお話しすることではないかもしれません、AI はスゴい。
現在、私は Youtube、Instagram、VOOM、TikTok 等でテーマを決めて話す 8 分程度のコンテンツ動画に加え 1 分程度の商品やトピックス動画、さらに弊社の施工事例動画と 3 タイプの配信を毎日おこなっています。

実はそのうちの 1 本は AI を使用しています。
テーマは私が考えますが、シナリオから動画、使用するイラストさらには音声まで全て AI によるものです。
考えなくてもいいんですね。だから 30 分かかりません。
ちなみにこの KEEP ON T.R.Y は私が作っていますよ(笑)

ヒトが考えなくても、AI が全て考え、答えを出してくれる。
使い方さえ学べば、それ以外の知識の習得など、今まで私たちが何十年とかけて学んだことなど一瞬で導き出す。
考えたり、学んだりすることを放棄する時代？！

現在、教育現場において、またフェイク画像による犯罪などこの AI については問題になっています。
しかし、AI そのものを否定するのではなく、どう使用するのかを私は模索していきたいと思っています。



←このイラスト
生成 AI で
作りました

ゴジラー1.0 に現代を見た

ゴジラ 70 周年を記念して制作された「ゴジラー1.0」。
多くの方からしつこいくらい「観た？」と聞かれ、先日ようやく観ました。
結論、面白かったですね。ゴジラの造形も素晴らしい、思わずフィギュアを買っちゃいました。
ストーリー的にはまだ観ていらっしゃらない方も見えますので言及は避けます(笑)
ただ「現代風だな」と感じました。
上の欄で、従来の発想からの変換が重要だと書きましたが、まさしく今回のゴジラ映画はこれまでの「日本人の美学」を大きく変えたものでした。「マジか！ こう来るかあ」という感じ。
どこが？ ソレ、ネタバレにつながりますから言えません(笑) 気になる方は劇場へ。

